

かいひん しょくぶつ

海浜植物を

探してみよう

さが

コウベキヌゲハキリバチ

かいひんしょくぶつ こんちゅう かんけい 海浜植物と昆虫の関係

ハマゴウは夏から秋にかけて花が咲きます。
 ハマゴウと共生関係にあるのが、コウベキヌゲハキリ
 バチ(約12mm前後)です。丸く切り取ったハマゴウの葉で作
 ったカプセルに花粉をつめ、地中に掘った巣穴に蓄えて
 幼虫のえさにするとともに、花粉を運んで受粉させるこ
 とに一役かっています。

コアオハナムグリ

アカスジカメムシ

キアゲハの若齢幼虫

ほかにも様々な生き物が海浜植物に依存
 して暮らしています。
 その様子をじっくりと観察してみましょう。

移動を
 流出を防
 ぎます。
 産卵位置の
 確認をす。

カヒジキ



ボウムギ



ポイントゲアナバチ



かいひん しょくぶつ
海浜植物
 やくわり
の役割

かいひん しょくぶつ
 海浜植物には、は くき すな と すな い どう
 葉や茎で砂を捕らえて砂の移動を
 と たい せき はたら すな はま すな りゅうしゅつ ふせ
 止め、堆積させる働きがあり、砂浜の砂の流出を防
 ぐとともに、りく がわ すな ひ さん ふせ
 陸側への砂の飛散を防いでいます。

とう ばん かい がん じょう りく
 東播海岸に上陸するアカウミガメが産卵する際の産卵位置の
 め やす ふ が てき さ ちゅう おん ど あん てい か やく だ
 目安や、孵化に適した砂中温度の安定化にも役立ちます。

ハマエンドウ



ツルナ



ハマウド



オカヒジキ



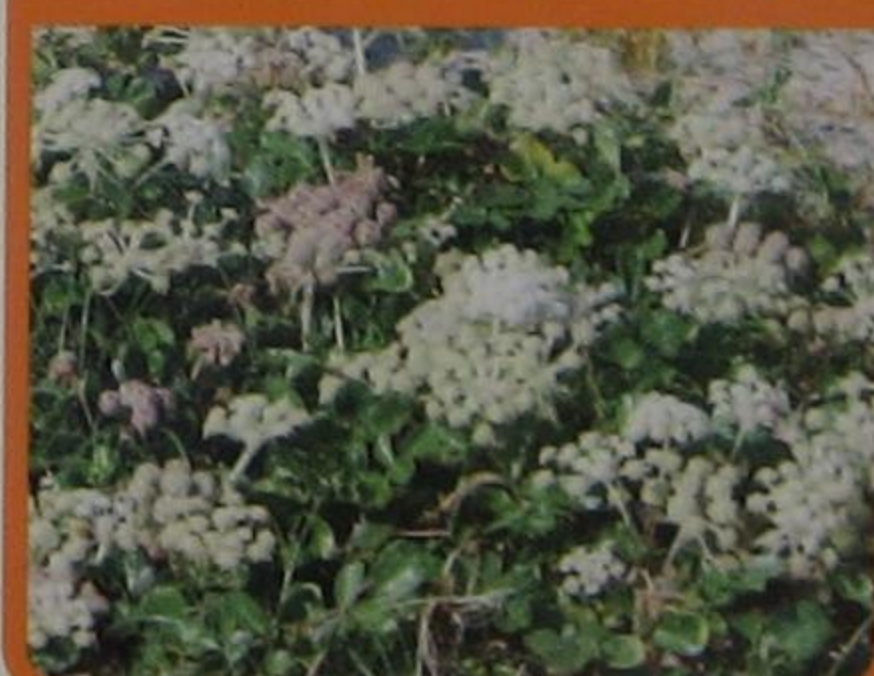
ハマゴウ



ハマヒルガオ



ハマボウフウ



コウボウムギ



コウボウシバ



ハマダイコン



ハマオモト



ニッポントゲアナバチ



キアゲハの若齢幼虫



かい
海
 さが
探

かいひんし
海浜

ハマゴウ
 ハマゴウと
 バチ(約12m)
 ったカプセ
 幼虫のえさ
 とに一役か

かいひん

しょくぶつ

たいせつ

海浜植物を大切にしましょう

植生復元の目的

日本の海岸は、波浪による侵食や港湾開発、埋め立てなどにより、自然海岸が激減し、特に阪神間では自然の砂浜は、ほとんど見られない状況になりました。

こうした自然海岸の消失に伴い、海辺に生息する多くの海浜植物が絶滅に瀕しています。

国土交通省では、防災や利用を目的に人工海浜を整備しています。この人工の砂浜を舞台に、失われた海浜植物を取り戻すための植栽実験を平成12年に行いました。



侵食防止のため護岸整備をした頃の藤江海岸（昭和39年）

復元による効果

① 本来の景観を再生



② 多様な生物の保全

③ より自然に親しめる海岸を創造



④ 環境教育・学習の場を提供

大切にしましょう



復元ふくげんによる効果こうか

① 本来ほんらいの景観けいかんを再生さいせい



② 多様たような生物せいぶつの保全ほぜん

③ より自然しぜんに親したしめる
海岸かいがんを創造そうぞう



④ 環境教育かんきょうきょういく・学習がくしゅうの場ばを提供ていきょう

理め立て
は自然の

する多く

兵を整備



岸整備をした
(39年)

かいひん しょくぶつ たいせつ

海浜植物を大切に

しょくせい ふくげん もくてき

植生復元の目的

日本の海岸は、波浪による侵食や港湾開発、埋め立てなどにより、自然海岸が激減し、特に阪神間では自然の砂浜は、ほとんど見られない状況になりました。

こうした自然海岸の消失に伴い、海辺に生息する多くの海浜植物が絶滅に瀕しています。

国土交通省では、防災や利用を目的に人工海浜を整備しています。この人工の砂浜を舞台に、失われた海浜植物を取り戻すための植栽実験を平成12年に行いました。



侵食防止のため護岸整備をした頃の藤江海岸（昭和39年）

ふくげん

復元に

ほんらい

① 本来

たよう

② 多様

よりの

③ より

かいが

海岸

かんきよ

④ 環境











これより東は漁業施設です。
船揚時は通行不能となるので迂回して下さい。



藤江漁業組合





280 28534
HG3-33926

丸吉位

SAKURA
MARINE
EQUIPMENT

